

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	平成28年度第3回所沢市地域公共交通会議
開 催 日 時	平成28年11月2日(水) 午後1時30分から午後2時40分まで
開 催 場 所	市庁舎6階 604会議室
出席者の氏名	大友 昭三 富岡 ゆつき 木下 秀子 鈴木 由紀子 一木 昭憲 山内 智矢 鶴岡 洋 加藤 和伸 小河 憲司 尾崎 晴男 柳瀬 光輝 坂本 剛章 鈴木 康人(代理出席:鹿島 仁) 糟谷 守 溝井 久男 仲 志津江 高橋 真利子 畦地 英樹
欠席者の氏名	鈴木 淑子、藤田 貢
説明者の職・氏名	市民部交通安全課長 田中 政美
議 題	1 開会 2 議事 (1) 所沢市の地域公共交通の方向性について (2) その他 3 閉会

<p>会 議 資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【概要】所沢市における地域公共交通の方向性について ・「所沢市における地域公共交通の方向性について」答申（案） ・所沢市地域公共交通会議委員名簿（H28.11.2 現在） ・運行ナビおよびバスロケーションシステムの実証実験に関する資料 ・平成 28 年度第 2 回所沢市地域公共交通会議 会議録
<p>担 当 部 課 名</p>	<p>経営企画部：三上部長、粕谷次長 企画総務課：内野課長、野村交通政策室長、緑川主査、大島主任 【事務局】：経営企画部 企画総務課 交通政策室 電話 04-2998-9046</p>

様式第 2 号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
企画総務課長	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議成立の報告 ・会長あいさつ ・委員の変更の報告 ・会議の公開の確認 ・傍聴希望者の確認 傍聴者 1名 ・配布資料の確認 ・関係課職員の出席確認（交通安全課） <p>2 議事</p> <p>以下、尾崎会長が議長となり進行</p> <p>（ 1 ）所沢市の地域公共交通の方向性について</p>
議長	<p>議題（ 1 ）所沢市の地域公共交通の方向性については、前回の会議で答申素案が示され、事務局から概要について説明があり、全体の構成については、おおむね了承をいただいたが、さまざまなご意見もいただいたかと思う。本日は、事務局より「答申案」が示されたが、答申素案からの修正点も含め、事務局から説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>前回の会議で答申素案から、ご意見等をもとに修正のうえ、本日、答申案として示させていただいた。主な修正点として、新たに鉄道駅へのアクセス等に関する記述を追加するとともに、運賃の値上げに関する記述を明確にした。</p> <p>なお、「現状」「課題」「方向性」「具体的な取組みに関する提言」という全体の構成は前回から変更していない。後ほど、各章ごとに詳細に説明させていただく。</p>
議長	<p>わかりました。では答申案を確認していくが、第 1 章「所沢市における地域公共交通の現状」、第 2 章「所沢市における地域公共交通を取り巻く課題」については、前回から変更がないので、空欄部分についての補足と答申の核となる第 3 章「所沢市の地域公共交通の方向性」から詳細を事務局から説明してもらい、そのうえで、内容について協議しながら、地域公共交通会議として答申案をまとめていきたい。</p>

事務局	<p>第2章の空欄部分について、路線バスの系統数は「平成28年1月1日現在、37系統」の表記としたい。タクシーの現状については、昨年度から状況が変わっていることもあり、所沢市タクシー協議会様と表記について調整している。</p> <p>第3章について説明する。</p> <p>前回の会議で示した答申素案は「地域公共交通の施策の方向性」となっており、今後、より良い地域公共交通を検討していくうえでの市としての心構えを示した内容であった。ご意見等を参考に、所沢市の地域公共交通そのものがこうあるべき、「あるべき姿」を強調する内容に改めた。</p> <p>具体的には、所沢市の地域公共交通の方向性として、「持続可能な地域公共交通の確立が必須」とし、そのためには(1)市が主体となり施策を展開、(2)地域内完結型を基本(地域の実情を考慮)、(3)収益性の確保(収支率を意識)の3つの視点が重要であるとまとめさせていただいた。</p> <p>第3章の内容の詳細について説明</p>
議長	<p>地域公共交通の方向性、あるべき姿として、3つの視点が示された。質問、意見等あれば受け付けたい。</p> <p>【特に意見等なし】</p> <p>では、第3章については答申案のとおりでまとめるものとするがよろしいか。</p> <p>【一同了承】</p>
議長	<p>次に、第4・5章について協議していくが、第3章の方向性をもとに、今後取り組むべき具体的な施策について、地域公共交通会議から提言する形でまとめられている。第4章は「短期・継続的」、第5章は「中長期的」として整理されているが、それぞれ関連性があるため、まとめて事務局から説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>第4章は、すぐにでも取り組める施策、継続的に取り組むべき施策について、これまでの会議で出た意見等を中心にまとめた章となっている。</p>

	<p>第5章は、第4章の短期・継続的なものに対し、市役所内や交通事業者、場合によっては他の自治体などとの調整が必要であったり、地域住民の声を聞いたりしながら、場合によっては協働により、「持続可能な地域公共交通」を念頭においた中長期的な視野をもって、どのように施策に取り組んでいくべきかをまとめた章である。第3章の方向性をより具体化した内容といえる。また、ところバスの抜本的改革や新しい交通手段（形態）の導入を検討、実施するに際しての重要な視点も示している。</p>
	<p>第4・5章の内容の詳細について説明</p>
議長	<p>質問、意見等あれば受け付けたい。</p>
委員	<p>9ページの「運賃形態の見直し」の記載については、理由を前段にもってくる方が良い。「現状では輸送人員1人当たりの経費に385円を要しているが、利用者から頂いている運賃はこれ以下である。だから運賃を見直すべきである」という記載の方がより説得力がある。</p>
事務局	<p>ご意見のとおり修正するので良いのではないかと。</p>
委員	<p>市民も、輸送人員1人当たりの経費に385円も要していることを知らないのではないかと。より強調する意味でも前段にもってくる方が良い。</p>
事務局	<p>他自治体と比較するとそれほど高いわけではないが。</p>
委員	<p>他自治体と比較する必要はない。現実にこれだけ要しているという事実をきちんと記載すればよい。</p>
議長	<p>では、地域公共交通会議として「経費の現状 ところバスの運賃の現状 運賃形態を見直すべき」という流れに改めるのでよいか。</p> <p>【一同了承】</p>
委員	<p>9ページ「(4)地域住民との協働に向けた取り組み」について、市として、ヒアリングや勉強会を今後実施したいということか。</p>

議長	<p>答申なので、「市はヒアリングや勉強会を実施していく必要がある」と地域公共交通会議が提言する形である。</p>
委員	<p>答申の内容に「効率」という言葉が多く使われている。「効率」と「利便性」は場合によっては相反するところもあるので、市は地域の意見も聞き、丁寧に説明しながら、さまざまな施策に取り組んでいただきたい。</p>
事務局	<p>地域住民との協働に向けた取り組み、かわりについては、まだ具体的なイメージは無いが、今後、地域公共交通に関する施策を進めていくうえで、最も重要な視点の1つであると認識している。</p>
委員	<p>今後、特に運賃の値上げを検討する際には、市がきちんと地域に説明するべきである。</p>
委員	<p>運賃の値上げを極力しないようにするには、利用者を増やすしかない。私の地元ではイベントを実施する際、案内のチラシにところバスの時刻表も掲載している。地域の声も聞きながら、このような取り組みを各地域で行うことで、利用者が増やすことができれば、少しでも市民の負担を減らすことにつながる。</p>
議長	<p>市がまず努力する、そして地域の方も協力する、このような関係を徐々に築いていければよい。</p> <p>「(4)地域住民との協働に向けた取り組み」の部分は答申案のとおりとすることによろしいか。</p>
議長	<p>【一同了承】</p> <p>その他に質問、意見等あれば受け付けたい。</p> <p>【意見等なし】</p>
議長	<p>それでは、事務局より示された答申案について、9ページの「運賃形態の見直し」の文言修正と「タクシーの現状」における未確定部分については、事務局および私と仲副会長とで調整を行いながら修正する。特にご意見のなかったその他の部分とあわせて、所沢市地域公共交通会議としての答申とすることによろしいか。</p> <p>【一同了承】</p>

議長	<p>委員の皆様のおかげをもって、答申をまとめることができた。感謝申し上げたい。</p> <p>事務局に確認するが、今後、答申を提出するまでの流れや地域公共交通会議の開催について事務局から説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>皆様の委員としての任期は平成 29 年 6 月末までであるが、今回の会議開催の目的は、昨年第 1 回で藤本市長より諮問があった「所沢市の地域公共交通の方向性」について協議し、まとめること、つまり答申をいただくことであった。今後、急遽ところバスのコースやダイヤの変更の必要性が生じない限り、本日が最後となる。</p> <p>また、答申については、完成版を各委員の皆様にお知らせするとともに、来年の 1 月中を目処に、尾崎会長から藤本市長に対し、提出いただく方向で調整させていただきたい。</p>
議長	<p>私としてもできるだけ早く、答申を提出したい。</p> <p>平成 29 年 6 月末をもって、委員の皆様の任期が終了することであるが、引き続き、地域公共交通会議は存続していくのだと思う。委員の改編等はどうなるのか。</p>
事務局	<p>公募させていただいた 4 名の市民の方につきましては、今回で終了となり、新たに公募することになる。その他の方につきましては、交通事業者様や関東運輸局様など委員を選任いただくことが条例で決められているところもあるが、詳細については未定である。</p>
議長	<p>(2) その他</p> <p>議題 (2) について、事務局から説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>「運転免許証自主返納者に対するアンケートの実施」について、および「ところバスにおける運行ナビ・バスロケーションシステムの実証実験」の 2 点について報告がある。</p>
議長	<p>説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>「運転免許証自主返納者に対するアンケートの実施」について</p> <p>所沢市民の運転免許証自主返納者が増加傾向にあること、また来年 3 月に改正道路交通法が施行されることで、運転免許証自主返納者を含む免許を持たない高齢者がさらに増えることが予想される。</p> <p>道路交通法の改正概要については、75 歳以上の高齢者が車の運</p>

	<p>転中、信号無視など、一定の違反行為をした場合、「臨時認知機能検査」を受けなければならないことになり、受けなかった場合は、免許の取り消し等の処分が実施されるとのことである。このことから、運転免許証を持たない高齢者の公共交通へのニーズ等を把握していくため、所沢警察署様のご協力のもと、警察で運転免許証自主返納手続をした方に対し、アンケート調査を実施する方向で検討をはじめている。</p>
議長	<p>質問、意見等あれば受け付けたい。</p>
委員	<p>アンケートはどのような手法で実施するのか。</p>
事務局	<p>所沢警察署様のご協力のもと、運転免許証自主返納手続をされた方に対し、窓口でアンケート用紙を配布していただく方法である。</p>
委員	<p>運転免許証自主返納手続をされた方に対し、現在でもさまざまな書類を配布しているので、その中に含める方法としたい。</p>
委員	<p>実施時期はいつごろからを予定しているのか。</p>
事務局	<p>年内には開始したい。</p>
交通安全課	<p>次に、「ところバスにおける運行ナビ・バスロケーションシステムの実証実験」についてであるが、これは西武バス株式会社と株式会社ナビタイムジャパンとの共同で開発されたアプリケーションの機能の有効性をところバスで確認するものである。具体的には、GPSをバス車内に搭載し、バスロケーションシステムを運行管理者に提供し、リアルタイムでバスの位置情報や混雑状況を把握するサービスである。また、運転席にタブレット端末を設置し、ナビゲーション画面が表示される機能もあり、運転手の運行経路誤りを回避できるメリットもある。実証実験は今年の9月30日から12月28日までの期間で実施し、西武バス株式会社よりその結果について報告いただき、それを判断材料とし、市として実用が可能かどうか検討していきたい。</p>
議長	<p>市の経費負担はあるのか。</p>
交通安全課	<p>実証実験における市の負担はない。</p>

議長	実証実験により良好な結果を得た場合、導入の可否も含め、市としてどのように考えているのか。
交通安全課	経費等の課題があるので、西武バス株式会社などとも協議しながら検討していきたい。
議長	通信料やアプリケーション使用料がかかるので、費用対効果を検証しながら検討をしていくことになるのだろう。
委員	約3ヶ月間の実証実験で良好な結果が得られたらば、すぐに市民がスマートフォンなどを使ってバスロケーションシステムを使用できるというわけではないのか。
委員	まず、利用者に対し、バスの位置情報などのサービスの提供が可能なのか、提供が可能と判断した場合に、利用者にとって、有料サービスとなるのか無料サービスとなるのかなどをきちんと検証し、ところバスへの導入の可否について市と協議していきたい。
委員	ところバスがよく遅延する現状において、このサービスの提供が実現すれば、利用者はいつ来るのかわからないところバスを、ひたすらバス停で待っているという状況がなくなる。これは大きな利便性向上につながる。ぜひ本格導入をしていただきたい。
委員	このような取り組みはとても良いことであるが、スマートフォンなどを使えない人のために、バス停で、「あと何分で到着する」というような情報が見られるような仕組みも検討してほしい。
委員	都営バスを利用しているとそのようなバス停をよく見かける。とても良いサービスである。
議長	バス事業者も、予定よりも早く出発することは絶対にあってはならないことを前提にバスのダイヤを組むわけで、どうしても遅延は発生してしまう。遅延はバス事業の宿命で、苦慮している事情はよくわかる。 引き続き、このような取り組みを含め、研究を進めていただきたい。
委員	バス利用者を増やす、あるいは利便性を向上させるには、鉄道駅からバスへの接続についても配慮が必要である。駅におけるバス乗

議長	<p>り場やバス路線の案内板についてもわかりづらい例が見られる。航空公園駅のバス路線総合案内図についても、以前から調整中となっているものを改善していただくとともに、例えば、ところバスの路線も入れるなどの工夫を検討してほしい。</p> <p>答申にも、「具体的な取り組み事例」として、ところバスと路線バスが一体となった路線図の作成について記載がある。ぜひ検討していただきたい。</p>
議長	<p>その他に事務局から何かあるか。</p>
事務局	<p>特に議題、報告等はない。</p>
議長	<p>特に意見等がなければ、以上で議事を終了する。</p>
企画総務課長	<p>以上で、平成28年度第3回所沢市地域公共交通会議を終了する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>